TimeSelector概要説明
DEZIST

TimeSelector は、「綿密な時間管理」と「復習の最適化」の 2 つを
コンセプトに開発された人工知能オートスケジューラです。

「公認会計士」などの難関試験の合格に最も大切なことは、
"計画的に学習する(身に付ける)"ことが全てだと言っても過言ではありません。
それは、膨大な勉強を限られた時間の中で行わなければならないためです。
これを丼勘定で計画すると、大抵の場合学習が間に合わなくなり失敗します。

TimeSelector の人工知能は、「忘却曲線を意識した復習」による学習効果の高い勉強計画を立てます。
TimeSelector はその計画を「分刻みで綿密に管理」することで、丼勘定による計画破綻から脱却し、
難関試験の合格へ確実に近づけてくれる支援ツールです。

contents

1 TimeSelectorのコンセプト

ソフトウェア『TimeSelector』のコンセプトについて

TimeSelectorは、「綿密な時間管理」と「復習の最適化」の2つを
コンセプトに開発された人工知能オートスケジューラです。

「公認会計士」などの難関試験の合格に最も大切なことは、
”計画的に学習する(身に付ける)” ことが全てだと言っても過言ではありません。
それは、膨大な勉強を限られた時間の中で行わなければならないためです。
これを丼勘定で計画すると、大抵の場合学習が間に合わなくなり失敗します。

TimeSelectorの人工知能は、「忘却曲線を意識した復習」による学習効果の高い勉強計画を立てます。
TimeSelectorはその計画を「分刻みで綿密に管理」することで、丼勘定による計画破綻から脱却し、
難関試験の合格へ確実に近づけてくれる支援ツールです。

2 TimeSelectorの人工知能

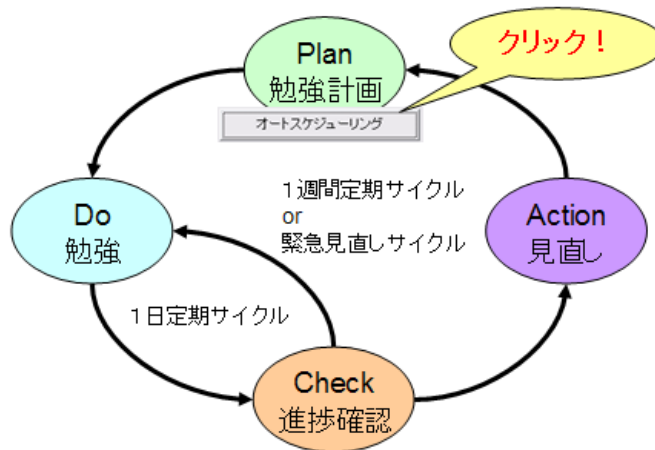
人工知能の活躍

PDCAサイクルと人工知能

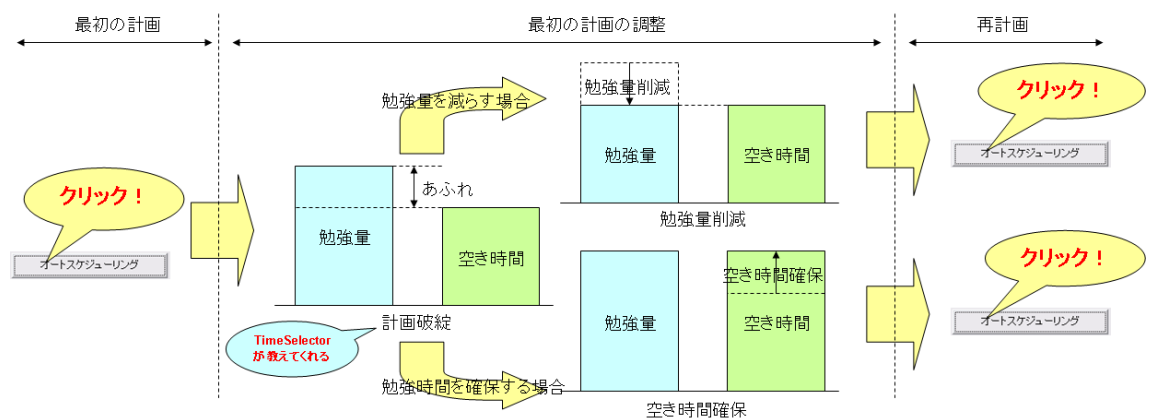
PDCAサイクルとは確実に目標を達成するための典型的なマネジメント手法であり、
　資格や入試などの勉強にも有効に活用できます。
　下図は、長期（3ヶ月～半年間）の学習を要する難関試験に向けた典型的なPDCAサイクルです。
　まず試験日までの勉強計画を立てます。
　その後、1日サイクルで勉強と進捗確認を行い、1週間サイクルで見直しと再計画を行います。
　これを試験日まで繰り返し行い、確実に目標達成に近づけていきます。

　TimeSelectorの人工知能は、このPDCAサイクルの中で「計画」を自動化し、長期の試験勉強で活躍します。

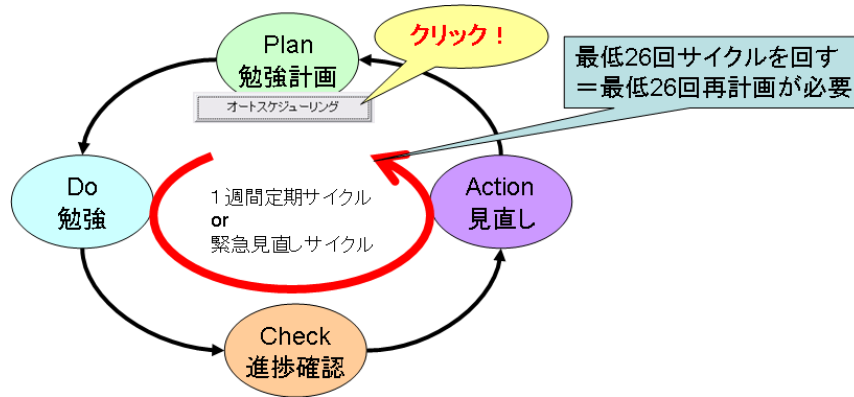
人工知能の活躍シーン

1. 試験日までの長期スケジュールの見積もり
2. 1週間ごとの定期再スケジュール

► 1．試験日までの長期スケジュールの見積もり

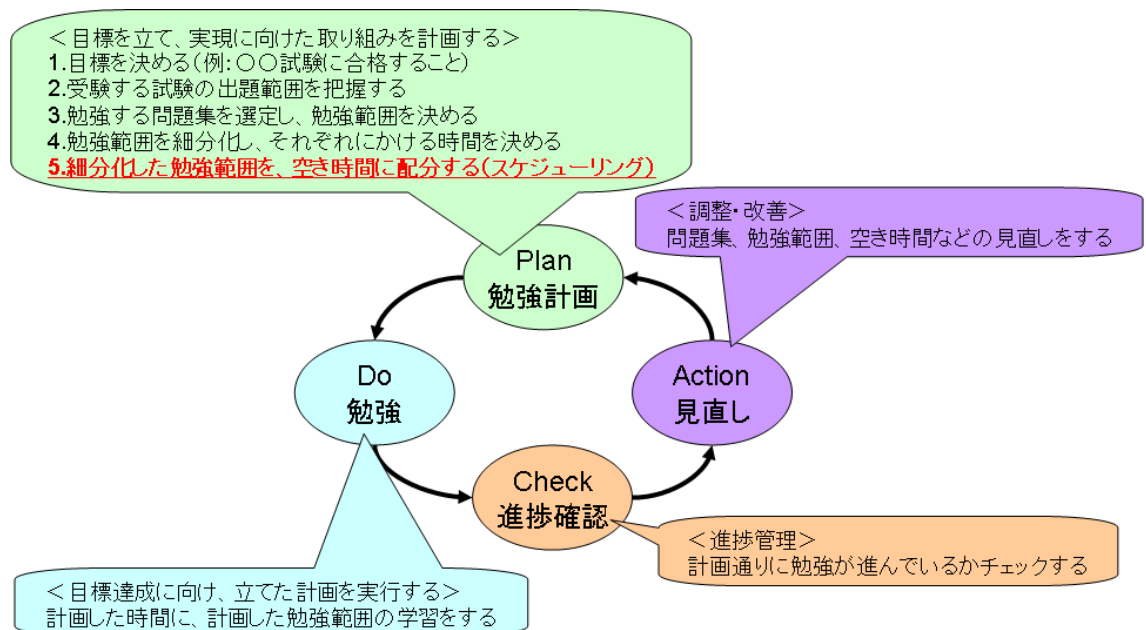
最初のスケジューリングで一番大変なのは、計画を立てた時点で既に破綻していた時のやり直しです。
これは、スケジュール期間が長ければ長いほど、再計画に時間がかかる上（半日とか1日とか)、
試行錯誤するため非常に大変な作業になります。

TimeSelectorを使う場合、【オートスケジューリング】をクリックするだけで
人工知能が自動的にスケジューリングしてくれるので
3ヶ月先、6ヶ月先の長期スケジュールを簡単に見通すことができます。
また、この時点で計画が破綻していた場合でも、勉強量や空き時間を調整した後、
再び【オートスケジューリング】をクリックすれば簡単に再計画する事ができます。

► 2．1週間ごとの定期再スケジュール

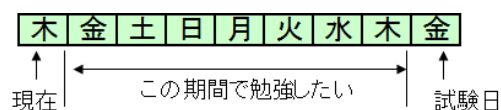
難関試験に向けた典型的なPDCAサイクルの中では1週間間隔で再計画を行います。
この再計画ではこの1週間での計画と実績のずれを見直します。
試験日までの6ヶ月間ある場合、26週間PDCAサイクルを回すことになります。
つまり、最低26回再計画を行うのです。
これに加え、実際には1週間の定期的な見直し以外にも、
「急用が入って勉強予定時間が大幅に削減された」
「体調を崩し、土日が2日とも丸々つぶれた」
「通勤方法が変わり、電車での勉強時間がなくなった。」
のような急な予定の変更が発生するものです。

TimeSelectorなら、登録情報を変更し、【オートスケジューリング】を
クリックするだけで急な予定変更にも対応できます。

人工知能の活用準備

ここからは、人工知能の動きについて説明します。
TimeSelectorの人工知能は「計画」を自動化する機能ですが、正確には「勉強の配分」を自動化します。
具体的には下図のような位置づけになります。
その中で、様々な条件（※）を加える（人工知能と対話する）ことで、現実世界に密着した計画を立てることができます。

- ※様々な条件
  - ・時間を分割したくない
  - ・問題を解く順番を決めたい
  - ・電車の中で解く問題と自宅で解く問題を区別したい
  - ・難しい問題は、まとまった時間の取れる土日にやりたい
  - ・復習も含めてスケジューリングしたい
  - ・復習は長期記憶が形成できる脳科学的に最も効率のよいタイミングで行いたい

TimeSelectorの人工知能がどのように機能するかについて、具体例を用いて説明しますが、
その前に、人工知能を使うまでの準備をします。

1 目標を決める

今日は木曜日。
来週の金曜日に数学の試験があり、
明日から１週間の勉強スケジュールを立てます。

2 出題範囲を把握する

数学試験の出題範囲をチェック

3 問題集を選定、勉強範囲を決める

問題集Aの問1～5をやると決めます。
なかでも問3はとても難易度が高く、
まとまった勉強時間を確保して勉強しないと
できないような難しい問題であることが事前に分かっています。

4 勉強範囲を細分化し、それぞれにかける時間を決める

（以下では、細分化した勉強範囲1つ1つを「勉強タスク」と呼ぶ）

勉強タスク	時間
問題集Aの問1	1時間
問題集Aの問2	2時間
問題集Aの問3	3時間
問題集Aの問4	1時間
問題集Aの問5	2時間

3 人工知能の基本動作

TimeSelectorの人工知能の機能について1つずつ説明していきます。

勉強タスクの自動配分

何の条件も指定せずにオートスケジューリングすると、
下図のように勉強タスクを可能な限り前から詰めます。
こうすることで、空き時間の無駄をなくします。
これが最も基本的な機能です。

勉強タスク

問題	時間
問題集Aの問1	1時間
問題集Aの問2	2時間
問題集Aの問3	3時間
問題集Aの問4	1時間
問題集Aの問5	2時間

試験日までの空き時間（白い部分）

	金	土	日	月	火	水	木	金
6:00	睡眠	睡眠		睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
7:00	朝の身支度	朝の身支度		朝の身支度	朝の身支度	朝の身支度	朝の身支度	朝の身支度
8:00	電車	自宅		電車	電車	電車	電車	電車
9:00								数学試験
10:00	学校			学校	学校	学校	学校	
11:00								
12:00	昼食	昼食		昼食	昼食	昼食	昼食	
13:00		自宅						
14:00	学校		OFF日	学校	学校	学校	学校	
15:00								
16:00								
17:00	電車			電車	電車	電車	電車	
18:00	夕食	夕食		夕食	夕食	夕食	夕食	
19:00	風呂	風呂		風呂	風呂	風呂	風呂	
20:00	自宅	自宅		自宅	自宅	自宅	自宅	
21:00								
22:00								
23:00	睡眠	睡眠		睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	

勉強タスク

問題	時間
問題集Aの問1	1時間
問題集Aの問2	2時間
問題集Aの問3	3時間
問題集Aの問4	1時間
問題集Aの問5	2時間

試験日までの空き時間（白い部分）

	金	土	日	月	火	水	木	金
6:00	睡眠	睡眠		睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
7:00	朝の身支度	朝の身支度		朝の身支度	朝の身支度	朝の身支度	朝の身支度	朝の身支度
8:00	電車 問1	自宅 問3		電車	電車	電車	電車	電車
9:00		自宅 問4						数学試験
10:00	学校	自宅 問5		学校	学校	学校	学校	
11:00								
12:00	昼食	昼食		昼食	昼食	昼食	昼食	
13:00		自宅						
14:00	学校		OFF日	学校	学校	学校	学校	
15:00								
16:00								
17:00	電車 問2			電車	電車	電車	電車	
18:00	夕食	夕食		夕食	夕食	夕食	夕食	
19:00	風呂	風呂		風呂	風呂	風呂	風呂	
20:00	電車 問2	自宅		自宅	自宅	自宅	自宅	
21:00	自宅 問3							
22:00								
23:00	睡眠	睡眠		睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	

＜条件なしのオートスケジューリング実行前と実行結果＞

►►► 勉強タスクの非分割条件

先ほどの条件なしオートスケジューリングでは、問2と問3が分割されていましたが、
勉強タスクに非分割の条件をつけると、分割されなくなります。

問3はとくに難しい問題で、まとまった勉強時間が必要と考えられます。
途中で勉強時間が途切れてしまわないようにするためには、
非分割条件を付けてスケジューリングします。

下図は、問3に非分割条件を付けてオートスケジューリングした結果です。
金曜日と土曜日に分割されて、割り当てられていた問3の勉強タスクが、
非分割条件を付けることで分割されなくなり、金曜日にまとまって3時間確保されるようになりました。

このように、勉強タスクは非分割条件を付けた場合、勉強時間の分割/非分割を考慮します。また、条件指定のない、それ以外の勉強タスクは可能な限り空き時間が前から詰めるようにスケジューリングされます。

勉強タスク

勉強タスク	時間
問題集Aの問1	1時間
問題集Aの問2	2時間
問題集Aの問3	3時間
問題集Aの問4	1時間
問題集Aの問5	2時間

試験日までの空き時間(白い部分)

	金	土	日	月	火	水	木	金
6:00	睡眠	睡眠		睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
7:00	朝の身支度	朝の身支度		朝の身支度	朝の身支度	朝の身支度	朝の身支度	朝の身支度
8:00	電車 問1	自宅 問3		電車	電車	電車	電車	電車
9:00		自宅 問4						数学試験
10:00	学校	自宅 問5		学校	学校	学校	学校	
11:00								
12:00	昼食	昼食		昼食	昼食	昼食	昼食	
13:00		自宅						
14:00	学校		OFF日	学校	学校	学校	学校	
15:00								
16:00								
17:00	電車 問2			電車	電車	電車	電車	
18:00	夕食	夕食		夕食	夕食	夕食	夕食	
19:00	風呂	風呂		風呂	風呂	風呂	風呂	
20:00	電車 問2	自宅		自宅	自宅	自宅	自宅	
21:00	自宅 問3							
22:00								
23:00	睡眠	睡眠		睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	

勉強タスク

勉強タスク	時間
問題集Aの問1	1時間
問題集Aの問2	2時間
問題集Aの問3 非分割条件付	3時間
問題集Aの問4	1時間
問題集Aの問5	2時間

試験日までの空き時間(白い部分)

	金	土	日	月	火	水	木	金
6:00	睡眠	睡眠		睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
7:00	朝の身支度	朝の身支度		朝の身支度	朝の身支度	朝の身支度	朝の身支度	朝の身支度
8:00	電車 問1	自宅 問2		電車	電車	電車	電車	電車
9:00		自宅 問4						数学試験
10:00	学校	自宅 問5		学校	学校	学校	学校	
11:00								
12:00	昼食	昼食		昼食	昼食	昼食	昼食	
13:00		自宅						
14:00	学校		OFF日	学校	学校	学校	学校	
15:00								
16:00								
17:00	電車 問2			電車	電車	電車	電車	
18:00	夕食	夕食		夕食	夕食	夕食	夕食	
19:00	風呂	風呂		風呂	風呂	風呂	風呂	
20:00	自宅 問3	自宅		自宅	自宅	自宅	自宅	
21:00								
22:00								
23:00	睡眠	睡眠		睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	

＜非分割条件付のオートスケジューリング実行前と実行結果＞

►►► 勉強タスクの配分順番条件

先ほどの非分割条件付オートスケジューリングでは、
問２が分割され、問3の前後に問題２が配分されました。
しかし、問１から問５まで順に難しくなる問題の場合、問題を順に解きたいため、問3の後に問２が来ないように配分したくなります。そのような場合に、配分順番条件を付けます。

下図は、問１→問２→問３→問４→問５の順番となるように、配分の順番を指定してオートスケジューリングした結果です。

このようにして、勉強タスクに配分順番条件を付けた場合は、空き時間を前から詰めることよりも
指定した順序を優先してスケジューリングされます。

勉強タスク

問題集Aの問1	1時間
問題集Aの問2	2時間
問題集Aの問3 非分割条件付	3時間
問題集Aの問4	1時間
問題集Aの問5	2時間

試験日までの空き時間（白い部分）

	金	土	日	月	火	水	木	金
6:00	睡眠	睡眠		睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
7:00	朝の身支度	朝の身支度		朝の身支度	朝の身支度	朝の身支度	朝の身支度	朝の身支度
8:00	電車 問1	自宅 問2		電車	電車	電車	電車	電車
9:00		自宅 問4						数学試験
10:00	学校	自宅 問5		学校	学校	学校	学校	
11:00								
12:00	昼食	昼食		昼食	昼食	昼食	昼食	
13:00		自宅						
14:00	学校		OFF日	学校	学校	学校	学校	
15:00								
16:00								
17:00	電車 問2			電車	電車	電車	電車	
18:00	夕食	夕食		夕食	夕食	夕食	夕食	
19:00	風呂	風呂		風呂	風呂	風呂	風呂	
20:00	自宅 問3	自宅		自宅	自宅	自宅	自宅	
21:00								
22:00								
23:00	睡眠	睡眠		睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	

試験日までの空き時間（白い部分）

	金	土	日	月	火	水	木	金
6:00	睡眠	睡眠		睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
7:00	朝の身支度	朝の身支度		朝の身支度	朝の身支度	朝の身支度	朝の身支度	朝の身支度
8:00	電車 問1	自宅 問3		電車	電車	電車	電車	電車
9:00								数学試験
10:00	学校			学校	学校	学校	学校	
11:00		自宅 問4						
12:00	昼食	昼食		昼食	昼食	昼食	昼食	
13:00		自宅 問5						
14:00	学校		OFF日	学校	学校	学校	学校	
15:00		自宅						
16:00								
17:00	電車 問2			電車	電車	電車	電車	
18:00	夕食	夕食		夕食	夕食	夕食	夕食	
19:00	風呂	風呂		風呂	風呂	風呂	風呂	
20:00	自宅 問2	自宅		自宅	自宅	自宅	自宅	
21:00								
22:00								
23:00	睡眠	睡眠		睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	

＜配分順番条件付のオートスケジューリング実行前と実行結果＞

勉強タスクの場所指定

勉強タスクの内容によっては、電車の中でできないものもあります。
ノートにゴリゴリ計算式を書かなければならないような問題を電車の空き時間に配分されても困ります。
そのような場合に、場所指定を行います。

問１～問５のうち、問２、問３は計算問題（自宅で行いたい問題）だとします。

下図は、問２、問３の場所に「自宅」という条件を指定してオートスケジューリングした結果です。
先ほどまで問２は金曜日の電車の時間に割り振られていましたが、電車の時間を外して
自宅に配分されるようになりました。

このようにして、勉強タスクに場所指定を行った場合は、
「空き時間の場所」との一致も考慮してスケジューリングされます。

試験日までの空き時間（白い部分）

	金	土	日	月	火	水	木	金
6:00	睡眠	睡眠		睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
7:00	朝の身支度	朝の身支度		朝の身支度	朝の身支度	朝の身支度	朝の身支度	朝の身支度
8:00	電車 問1	自宅 問3		電車	電車	電車	電車	電車
9:00								数学試験
10:00	学校			学校	学校	学校	学校	
11:00		自宅 問4						
12:00	昼食	昼食		昼食	昼食	昼食	昼食	
13:00		自宅 問5						
14:00	学校		OFF日	学校	学校	学校	学校	
15:00		自宅						
16:00								
17:00	電車 問2			電車	電車	電車	電車	
18:00	夕食	夕食		夕食	夕食	夕食	夕食	
19:00	風呂	風呂		風呂	風呂	風呂	風呂	
20:00	自宅 問2	自宅		自宅	自宅	自宅	自宅	
21:00								
22:00								
23:00	睡眠	睡眠		睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	

試験日までの空き時間（白い部分）

	金	土	日	月	火	水	木	金
6:00	睡眠	睡眠		睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
7:00	朝の身支度	朝の身支度		朝の身支度	朝の身支度	朝の身支度	朝の身支度	朝の身支度
8:00	電車 問1	自宅 問3		電車	電車	電車	電車	電車
9:00								数学試験
10:00	学校			学校	学校	学校	学校	
11:00		自宅 問4						
12:00	昼食	昼食		昼食	昼食	昼食	昼食	
13:00		自宅 問5						
14:00	学校		OFF日	学校	学校	学校	学校	
15:00		自宅						
16:00								
17:00	電車			電車	電車	電車	電車	
18:00	夕食	夕食		夕食	夕食	夕食	夕食	
19:00	風呂	風呂		風呂	風呂	風呂	風呂	
20:00	自宅 問2	自宅		自宅	自宅	自宅	自宅	
21:00								
22:00								
23:00	睡眠	睡眠		睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	

<場所指定付のオートスケジューリング実行前と実行結果>

勉強タスクの曜日指定

問２、問３は計算問題であるため、場所には自宅を指定しておりましたが、
自宅の条件指定だけでは、問２が学校から帰ってからご飯を食べた後の一番眠たくなる時間に配分されてしまうことに気づきました。

できるだけ、計算問題は学校から帰ってからの一番眠たくなる時間帯ではなく、土曜日の休日の疲れの少ない時間帯に勉強したいと考えることがあります。
そのような場合に、曜日指定を行います。

下図は、問2、問３の曜日に「土曜日」と指定してオートスケジューリングした結果です。
問2、問３が土曜日に割り当てられることで、他の勉強タスクが後ろにシフトしています。

このようにして、勉強タスクに曜日指定を行った場合は、
曜日との一致も考慮してスケジューリングされます。

試験日までの空き時間(白い部分)

	金	土	日	月	火	水	木	金
6:00	睡眠	睡眠		睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
7:00	朝の身支度	朝の身支度		朝の身支度	朝の身支度	朝の身支度	朝の身支度	朝の身支度
8:00	電車 問1	自宅 問3		電車	電車	電車	電車	電車
9:00								数学試験
10:00	学校			学校	学校	学校	学校	
11:00		自宅 問4						
12:00	昼食	昼食		昼食	昼食	昼食	昼食	
13:00		自宅 問5						
14:00	学校		OFF日	学校	学校	学校	学校	
15:00		自宅						
16:00								
17:00	電車			電車	電車	電車	電車	
18:00	夕食	夕食		夕食	夕食	夕食	夕食	
19:00	風呂	風呂		風呂	風呂	風呂	風呂	
20:00	自宅 問2	自宅		自宅	自宅	自宅	自宅	
21:00								
22:00								
23:00	睡眠	睡眠		睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	

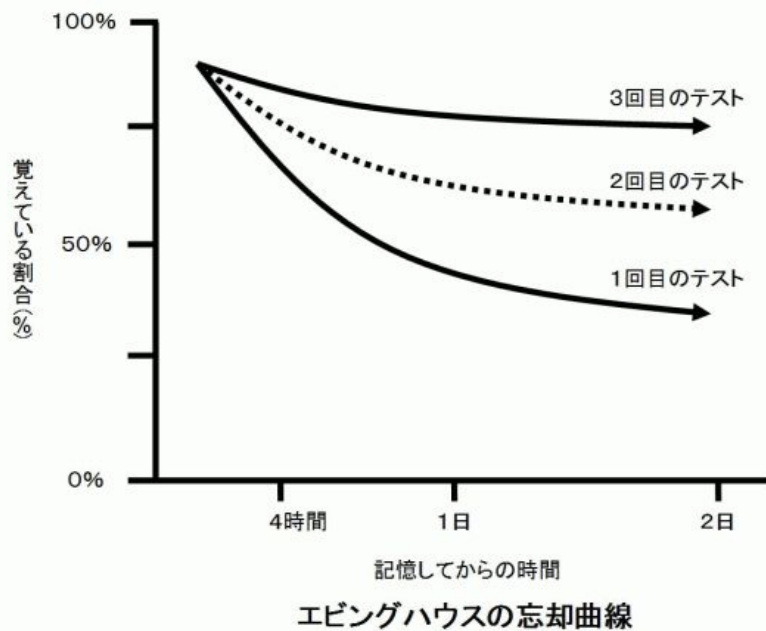
試験日までの空き時間(白い部分)

	金	土	日	月	火	水	木	金
6:00	睡眠	睡眠		睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
7:00	朝の身支度	朝の身支度		朝の身支度	朝の身支度	朝の身支度	朝の身支度	朝の身支度
8:00	電車 問1	自宅 問2		電車	電車	電車	電車	電車
9:00								数学試験
10:00	学校			学校	学校	学校	学校	
11:00								
12:00	昼食	昼食		昼食	昼食	昼食	昼食	
13:00		自宅 問3						
14:00	学校		OFF日	学校	学校	学校	学校	
15:00								
16:00		自宅 問4						
17:00	電車	自宅 問5		電車	電車	電車	電車	
18:00	夕食	夕食		夕食	夕食	夕食	夕食	
19:00	風呂	風呂		風呂	風呂	風呂	風呂	
20:00	自宅	自宅 問5		自宅	自宅	自宅	自宅	
21:00								
22:00								
23:00	睡眠	睡眠		睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	

<曜日指定付のオートスケジューリング実行前と実行結果>

勉強タスクの復習機能

勉強は、やっても忘れてしまっては意味がありません。
試験当日まで勉強したことを覚えていなければ意味がないのです。

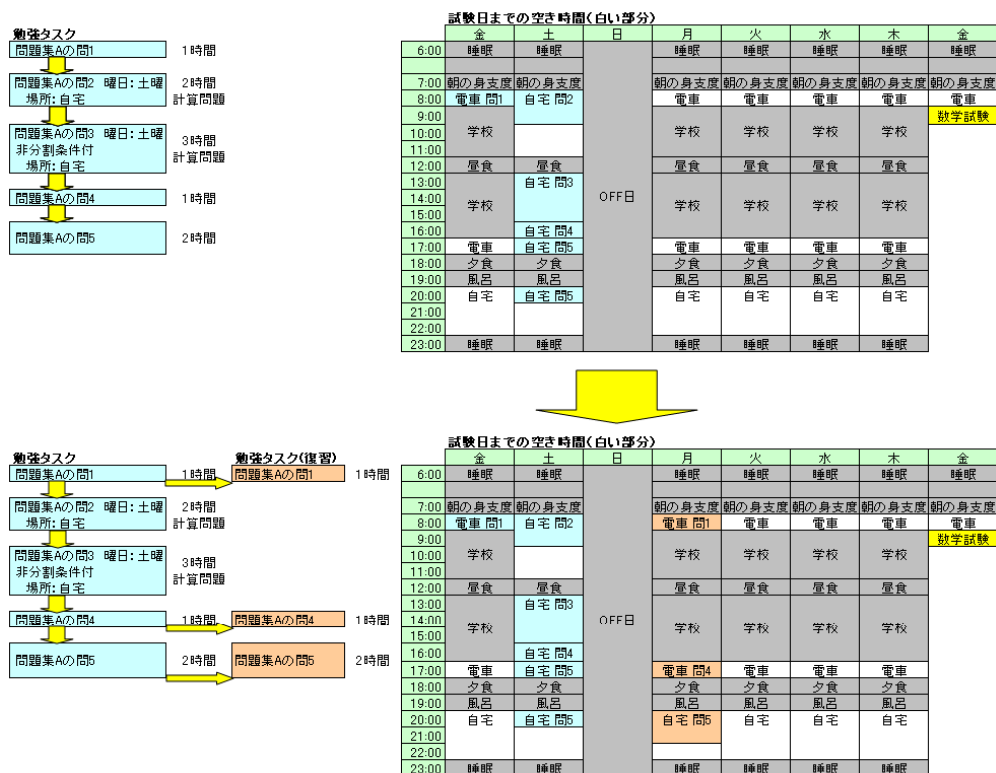
そこで、TimeSelectorの復習機能を使うと、エビングハウスの忘却曲線を意識した復習スケジュールができ、忘れにくい記憶である長期記憶を形成するスケジュールを組むことができます。

● エビングハウスの忘却曲線について
（上図と以下の内容は参考文献:『記憶力を強くする』 著者:池谷裕二　講談社　より抜粋）

海馬に記憶が保管されている期間は、長くても1ヶ月であると言われています。つまり、この1ヶ月こそが復習の絶好のチャンスなのです。このタイミングを逃すと、復習の効果は得られません。

忘却曲線を考慮に入れると、科学的にもっとも効率的な復習スケジュールは、まず1週間後に
1回目、つぎにこの復習から2週間後に2回目、そして、最後に2回目の復習から1ヶ月後に
3回目、というように1回の学習と3回の復習を少しずつ間隔を広くしながら、2ヶ月かけて行うことです。

下図は、計算問題以外の問１、問４、問５の勉強タスクに対し、復習機能を使用してオートスケジューリングした結果です。

- 復習回数：1回
  （通常、長期記憶を形成するためには、2ヶ月かけて3回行うことが脳科学的に最も効果的です。）
- 復習時期：2日以降7日以内
  （1回目の復習は、1週間後付近に行うことが脳科学的に最も効果的です。）

※復習時期、復習回数は個人の勉強スタイルに合わせ、自由に指定できるようになっています。

<復習機能使用時のオートスケジューリング実行前と実行結果>

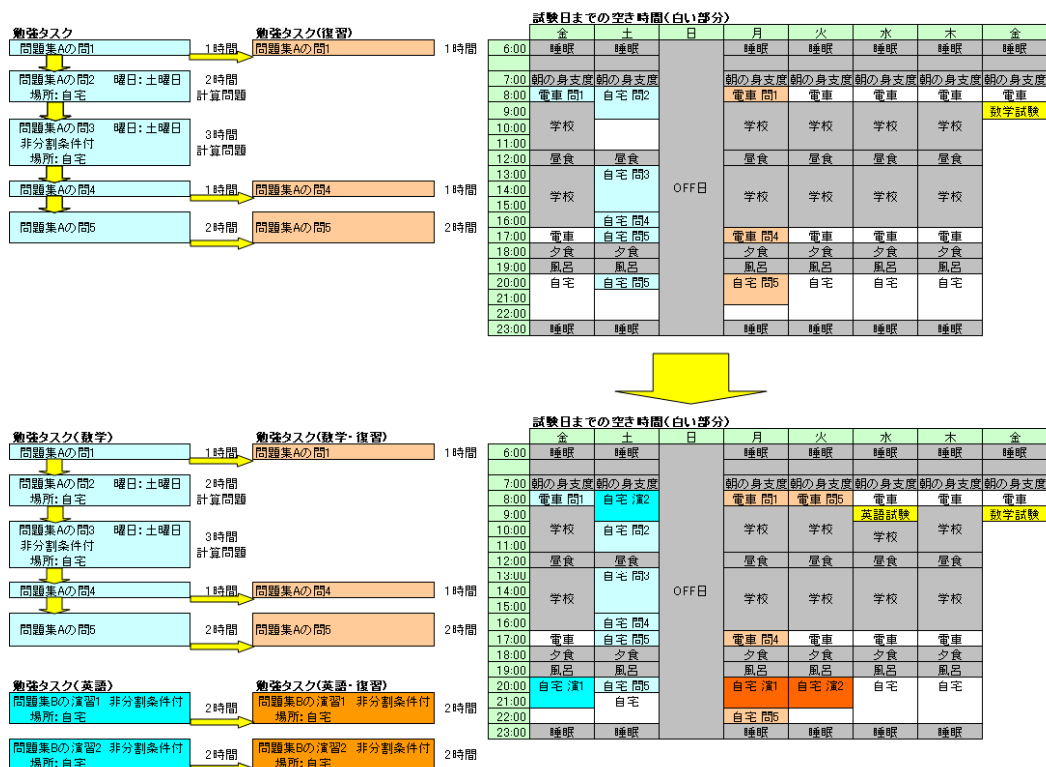
このようにして、復習機能を使うことで指定した期間内に復習を盛り込んでスケジューリングされます。

4 複数プロジェクトの扱い

複数プロジェクトの配分

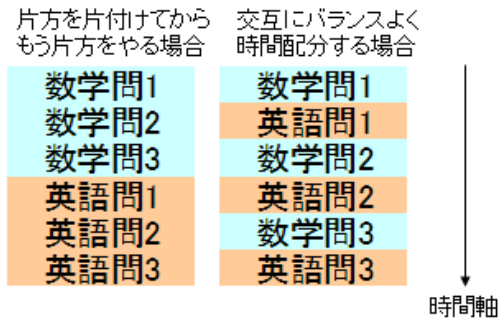
これまでに出てきた複数の勉強タスクをまとめて、「プロジェクト」と呼びます。
TimeSelctorの人工知能は、このプロジェクトが複数ある場合にも対応しています。
例えば、これまでの数学試験に加え、英語の試験に対する勉強スケジュールも
一緒に立てたい場合も対応可能です。

また、勉強タスクと同様にプロジェクトに対しても「配分順番条件」を付ける事ができるので、
「数学の試験勉強が全て終わってから英語の試験勉強をやる」と言う使い方もできます。

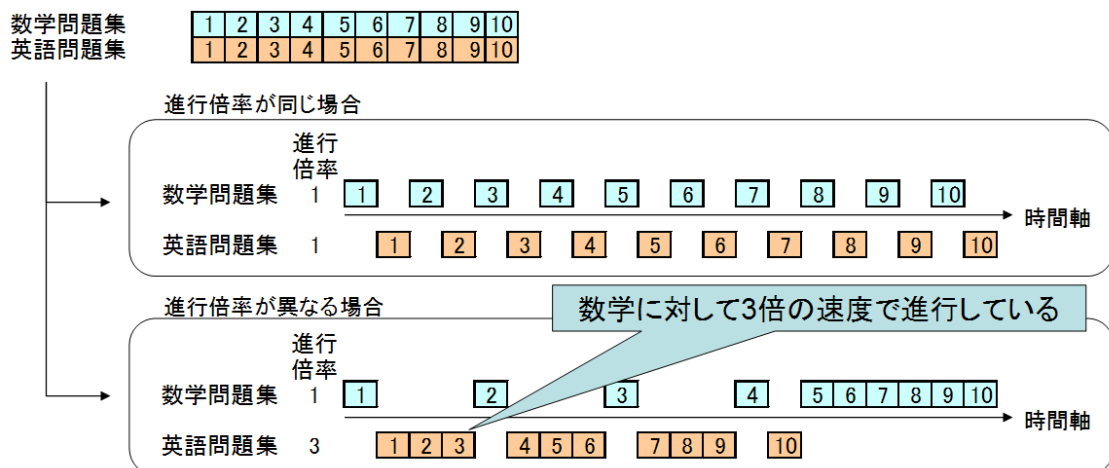
下図は、英語の試験が水曜日にあるので、英語の演習１、演習２、を追加し、復習の勉強タスクも追加しました。英語の勉強タスクは、場所は自宅、非分割条件という条件を付けています。

<複数プロジェクトのオートスケジューリング実行前と実行結果>

オートスケジューリングを行うと、上図のように数学の勉強タスクは数学の試験日までに配分され、英語タスクは英語の試験日までに配分されることが分かります。

複数プロジェクトの切り替え機能

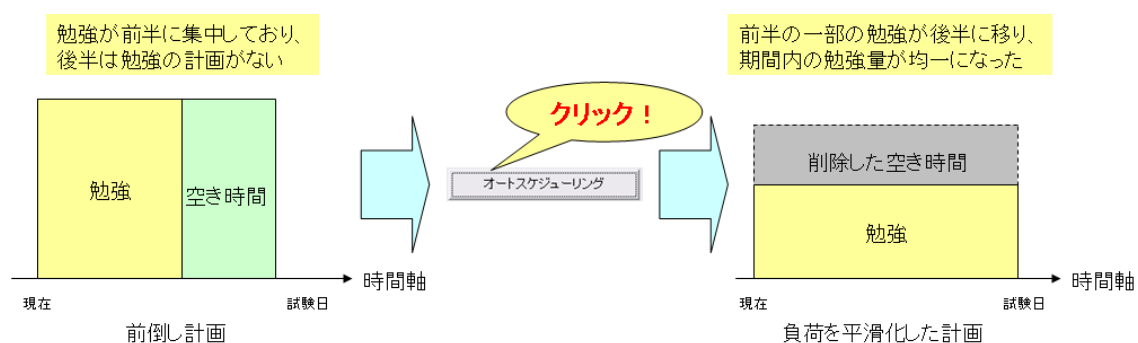
プロジェクトが複数あると、片方を片付けてからもう片方をやりたい場合があったり、
交互にバランスよく時間を配分したい場合があったりします。
その時に、プロジェクト切り替え機能を使用することで、複数プロジェクトの配分方法を
変える事ができます。

<複数プロジェクトの切り替え機能>

プロジェクトの進行倍率

複数プロジェクトを同時に行う場合、優先順位の高いプロジェクトを先に終わらせたい場合があります。
TimeSelectorの人工知能は、各プロジェクトに設定された「進行倍率」に応じた進行速度で勉強タスクの
配分を行います。

<プロジェクトの進行倍率>

- プロジェクトの進行倍率は様々な勉強タスクの条件を守ることが優先されるため、プロジェクトの進行倍率通りに配分されないことがあります。プロジェクトの進行倍率は無視しても問題とならない条件であるからです。

勉強負荷の平滑化

TimeSelectorの人工知能は、隙間時間を無駄なく使うため、勉強を極力前倒しする性質があります。
しかしながら、あまりに前倒し過ぎると負荷が偏る問題が起こります。
このような場合でも、TimeSelectorに自分で登録した「空き時間」を調整（削除）して
【オートスケジュール】をクリックするだけですぐに負荷をならして対応することができます。

<勉強負荷の平滑化>

5 TimeSelectorの最大の利点

目標を達成するための緻密で明確な計画が立てられる

『TimeSelector』の最大のメリットは目標を達成するための詳細な計画を立てられることにあります。
現実世界と密着した緻密なスケジュール管理であれば、そのスケジュールを成功させられると思いませんか？

何日も前から「本当に間に合うのか？」、「今、一番やらなければならないことは何か？」、
「自分は今、目標達成まで近づいているのか？」といったことが詳細に把握できるようになります。

予定に狂いが生じても何日も前から詳細な予定の修正が行えるのです。
また、復習機能を使えば、忘却曲線に基づいた効果的な反復学習を行うスケジュール管理が出来ます。

『TimeSelector』は、まさに時間の家庭教師とも言えるべき存在なのです。
人はやりたいことと、やれる時間ををコンピュータに伝えるだけ。
『TimeSelector』を使えば、毎日のスケジュール管理のストレスから解放されることでしょう。

『TimeSelector』は、３ヶ月間、約２００時間を緻密なスケジュールで見通した実力を持ちます。
約６００ページの問題集を９７％計画通りに試験当日までにこなした実力を持ちます。
（計画の狂いは約２００時間中、６時間に食い止めることができました。）

『TimeSelector』で空き時間を効率よく活用し、長期スケジュールのリスク管理を行いましょう。